

平成26年7月災害復旧技術専門家派遣について

1. 概要

【日にち】

平成26年7月24日～25日

【場所】

長野県木曾郡南木曾町

【調査場所】

24日 準用河川 梨子沢（なしざわ）等
（25日はとりまとめ会議及び調査報告）

【派遣専門家】

（社）全国防災協会 2名

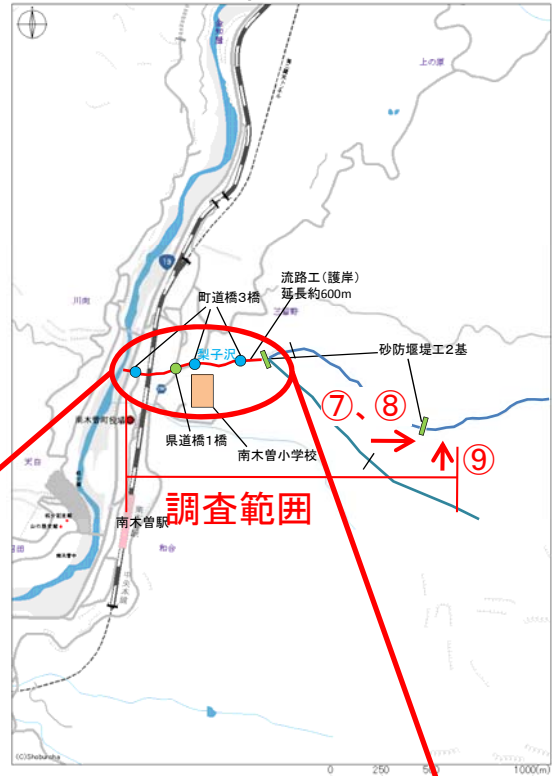
【要請者】

長野県建設部河川課

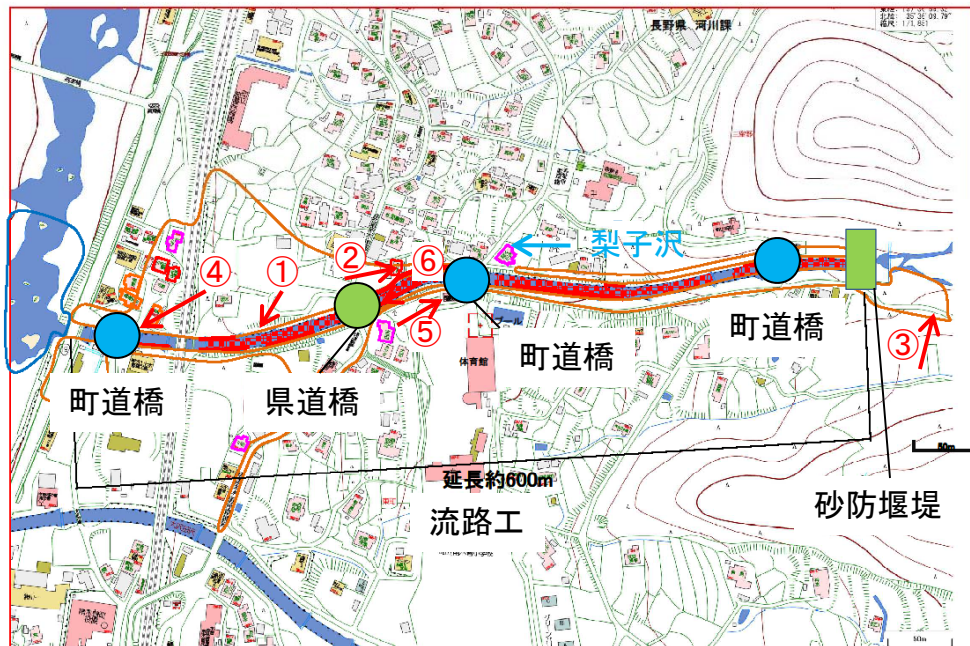
【同行者】

南木曾町
国土交通省防災課

位置図



拡大図



※番号は写真箇所を示す

2. 調査状況等

○流路工



①護岸決壊状況



②応急工事状況



③仮道の状況

○橋梁



④町道橋被災状況1



⑤町道橋被災状況2



⑥県道橋被災状況

○砂防堰堤



⑦砂防堰堤下流状況



⑧砂防堰堤被災状況



⑨砂防堰堤土砂埋そく状況

○取材状況



概要説明状況1



概要説明状況2



専門家取材状況

○とりまとめ会議

復旧工法についての助言

- ①木曾川の埋そく土は放置すれば二次災害に繋がるので、測量を行い、早急に除去することが望ましい
- ②流路工については、被災状況をよく調査した上で、『美しい山河を守る災害復旧基本方針』等を踏まえ、河川環境や景観への配慮をし、施工時の安全性を考慮した工法を検討することが望ましい
- ③砂防堰堤については、堰堤全体の被災状況を早急に確認し、経済性、施工時の安全性を考慮しながら復旧工法を検討することが望ましい。あわせて、河道埋そく土の除去も考慮すること。
- ④県・町道橋の上部工は2橋が流出、残りの2橋は残存しているが、損傷が激しいため、4橋とも架替が必要である。なお、下部工は残存しているが、被災状況を十分確認し、現行基準に則り復旧工法を検討すること。
- ⑤町道については、土石流による土砂の堆積があり、ガードレールや側溝、道路土留めの被災が確認されるので申請できる。

助言に対して

県及び南木曾町では、貴重な助言をもとに、早期復旧を目指して災害査定申請の準備を進める旨をコメントした。



とりまとめ会議(専門家助言)



記者会見(専門家、県、南木曾町)